

CIS PTSA ニュース

秋はすべての葉が花となる二番目の春である。——アルベール・カミュ



2012 年 CIS PTSA サマーフェスティバル

2012 年 PTSA 主催のサマーフェスティバルは、心躍る新年度の始まりにふさわしいイベントでした。参加した生徒、家族、先生、スタッフの方々の人数は、過去最高を記録しました。ゲーム、食事、そして先生と生徒による素晴らしいショーで盛り上がり、CIS コミュニティのつながりを深める場となりました。

今回サマーフェスティバルに参加できなかった方は、4 ページのハイライトをご覧ください。次回はぜひ一緒に楽しみましょう。来年は生徒だけでなく、保護者の方々にも特技を披露していただきたいと願っています。

4 ページに続く

ハロウィンがやってくる

あなたのかぼちゃは熟しましたか。1 年で最も不気味なお祭りの時期がやって来ました。10 月 28 日はハロウィンパーティです。 2 ページ

先生にインタビュー

1 年生の新しい担任の先生にインタビューしました。そしてフレミング先生に出身大学について語っていただきました。 3、5 ページ

PTSA ニュース

PTSA は保護者、生徒、先生のニーズを最優先に活動しています。ご自分に合う場面で参加し、力を発揮しませんか。 6 ページ

ハロウィンが すぐそこまで...

牙に磨きをかけ、爪を研ぐときがきた。ハロウィンには、実に驚くべき事実が隠されている。それを知れば、この一年で最も不気味な日を、もっと楽しめるはずだ！



フクロウはハロウィンの象徴だ。中世ヨーロッパでは、人々はフクロウを魔女の化身と信じていた。その鳴き声を聞くと死者が出ると恐れたのだ。



だれか

だれかがドアをノックした。
たしかに、たしかに
ノックした。
耳をすましてドアを開け、
右や左を見たけれど
夜のしじまをやぶるもの、なにひとつ見つかりはしなかった。
ただカブトムシがかべを這い、森ではフクロウがなっていた。夜露がしずかにおりてきて、コオロギがひそやかに歌ってた。
けれども、だれがきたのかは
どうしても、どうしても
わからない。
わたしのちっちゃな家の戸を
ノックしたのがだれなのか、
どうしても、どうしても
わからない。

“Trick or treat”
と菓子ねだる話が北米で最初に活字になったのは、1927年、カナダ、アルバータ州ブラッキーでのこと。

カボチャのちょうちんは
アイルランドが起源。

ケルト民族の祭り「サウー
ーン」では、くりぬいた
カブにろうそくを立て、
霊を追い払った。

ウォルター・デ・

ラ・メア

間崎ルリ子訳

黒とオレンジはハロウィンを連想させる色だ。オレンジは強さと忍耐、そして収穫と秋を表す。一方黒は、死と闇の象徴である。

アイルランドはハロウィン発祥の地と信じられている。古代ケルト人は、悪霊や幽霊がハロウィンの夜にさまようと考えた。そこで人間だと気づかれないように、仮面をかぶり変装したのだ。

先生にインタビュー

ジョージ・ステューキッチ先生（1年生）

故郷はどこですか。

カナダのオンタリオ州ロンドンで生まれ育ちました。トロントの南西に位置する、成長し続ける都市です。ロンドンには、私の家族や多くの友人が今も住んでいるので、訪れたい場所です。しかしここ3年間は、オンタリオ州のオタワに住んでいました。このカナダの首都は自然が美しく、またおいしいレストランがたくさんあるので、私はすっかりひきつけられていました。私にとって、ロンドンとオタワ両方が故郷です。

家族構成を教えてください。

今現在は4人家族です。両親と、兄弟が一人います。

ペットを飼っていましたか。

魚を数匹と、トリを飼っていました。そして短い間ですが、かわいいシェパードの子犬を飼っていました。

趣味は何ですか。

料理が大好きです！いつもキッチンで新しいレシピを試したり、ウェブサイトや料理の本を見ては、新しい料理の手法や材料を学んだりしています。

初めて日本に来たのはいつですか。

今回が初めてです。8月に日本に来たばかりです。

日本に来て、一番驚いたことは何ですか。

箸です。来日する前にいろいろ準備をしたのですが、箸の使い方を練習してくるのは忘れていました。

他の国に滞在した経験はありますか。

ヨーロッパの数カ国を旅行したことはありますが、カナダ以外の国に住むのは今回が初めてです。

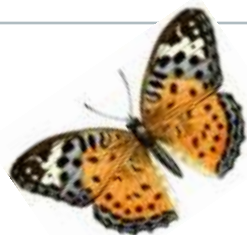
世界で一番訪れてみたい場所はどこですか。

一か所に絞ることはできません。世界中を旅して、さまざまなものに触れ、経験したいです。

コロンビアの生徒たちに、目標を達成し、夢を実現するためのアドバイスをお願いします。

目標を達成しようとするれば、ときに困難が伴います。障害や問題にぶつかっても失望しないでください。むしろ、学び成長する機会を得たのだと受けとめてほしいのです。





サマーフェスティバルの 思い出

6月16日にPTSAサマーフェスティバルが開催されました。かつてない大勢の参加者で盛り上がり、大成功を収めました。学校で開催するという初めての試みに、PTSA 役員の間には不安がありました。フェスティバルをスムーズに進行するために、役員が一丸となって懸命に取り組みました。磯村 PTSA 会長は、会長就任直後にもかかわらず、役員をまとめ、力を尽くしました。食べ物の手配、ゲームやショーの計画、PRなど、できる限りの準備をして、フェスティバル当日を迎えました。先生たちのバンド“*We'll be Fine*”は、出演依頼を快く引き受けてくれました。そして特別ゲストのジェット・エドワーズさんと共に、華麗な演奏を披露してくれました。また多くの生徒たちが自ら進んでショーに参加し、友だちや家族の前で演じたことに、大きな誇りを感じます。

史上最高のサマーフェスティバルでした。食べ物もおいしかったです。そこで演奏できたことを光栄に思います。楽しかったですね！

(ハガティ先生、
ギタリスト&シンガー)



このようなイベントは、コミュニティをつなぐものです。今回のフェスティバルには、多くの CIS ファミリーが集まりました。その幸せそうな顔を見て、私たちは感激しました。PTSA 会員のみなさん、先生方、スタッフの方々、みなさんのおかげで、2012年サマーフェスティバルは、心に残るイベントとなりました。



スチューデントエンターテイナーのみなさん、
ありがとうございました。

バンド	Nagisa Miura Julia Kurosawa Kenya Nakanishi Kotomi Yamada Fumitaka Takiura
チェロ	Taiki Jo
テコンドー	Keiju Yoshihara
ピアノ	Sakura Prema Kadono
ギター	Kanta Kiyomoto (with Mom & Dad)
剣舞	Yo Kanda
ピアノ	Siraj Emi
剣道	Ryuta Kato & Father

大学コーナー：内部情報

ダーシー・フレミング先生ーブランドン大学、
マニトバ州 (<http://www.brandonu.ca/>)

「私がブランドン大学にすぐになじめた理由は二つあります。一つ目は、カナダの学生も留学生も親切なこと。二つ目は、教授と活発に協力し合えること。概して、ブランドン大学で学ぶことは、経験と知識の両面から価値のあることです」(中国人在学生)

CIS の高校の先生であり、スクールカウンセラーでもあるフレミング先生は、文学士号とその後の教育学の学位を、この小さくていて活気に満ちた大学で取得しました。先生が大学で得た様々な素晴らしい経験の中から、いくつか紹介してもらいましょう。

なぜブランドン大学 (BU) を選んだのでしょうか。

「理由は二つあります。まずは家から近かったこと。(経済的ですからね) もう一つは教師になりたかったことです。BU には優れた教育学の講座があります。(最近確認したときも、カナダ西部で二番目の高い評価を得ていました) 第一学位では、主専攻に歴史学を、副専攻に宗教学と地理学を取りました。第二学位では、教育学に重点を置きました。BU は音楽講座でも有名です」

大学の雰囲気はどうですか。

「和気あいあいとしています。BU は小規模な大学で、みんなリラックスしています。寮に住む学生はよく、パジャマとスリッパのまま授業に参加していました。(今もそれが許されるのかは分かりませんが)」

CIS の生徒たちにアドバイスをお願いします。

「親と腰を落ち着け、進路について話し合おう。親は君たちの教育において、大切なパートナーだということを忘れないでほしい。大学で取りたいコース、所在地(安全性、地理的な問題、気候など)や、もちろん費用についても相談しよう。そして自分の希望に合う大学を調べよう。徹底的に調査する。(ウェブサイト、大学に連絡を取る、教師に相談する) 調査した後、再度親と話し合おう。入学したい大学を 5、6 校に絞りリストを作る。さあ、出願だ。11 年生のときに取り組み始め、願書は卒業の年の 1 月または 2 月までに提出する」



基本データ：

- 所在地：マニトバ州ブランドンカナダでトップ 10 の都市に選ばれた。
- ブランドン大学のモットー：「自分らしくあれ」
- 歴史深い大学：
BU は 1866 年に設立され、マニトバ州で 3 番目に大きい大学である。
- 農村開発と地域教育のリーダー：
BU は 100 万ドルの研究賞を受けた。それは大学と地域が協力して、ファーストネーション、メティ、イヌイット (FNMI) そしてマニトバ州北部のコミュニティに暮らす子どもや若者の、教育環境の向上を目指すためのものだ。
- 学生数：4,000 人 (学部学生)
- アカデミック英語 (AEP)：
留学生は 3 カ月間の AEP コースに登録して受講できる。
- 留学生の年間費用：
7,000~8,000 ドル
- TOEFL 合格ライン：
TOEFL iBT 80 点
ペーパー版 550 点
- カリキュラム：
教養学部、教育学部、保健学部、音楽学部、理学部



参加しましょう! 2012-13

アイデア、計画、そして参加と一緒に活動しましょう

PTSAは、クラスごとに委員を選出したり、役員も順番に回って来たりするものではなく、完全に有志の方が集まって活動しています。皆さん、お仕事や介護でお忙しくされていますが、PTSAの活動を通して、自身のお子様たちの様子を知ったり、お友達の親御さんたちと知り合いになったり、先生やスタッフの皆さんともお話しする機会も多いので、得るものも多いと思います。

活動内容は、毎年、学校と相談しながら、講師をお招きしてロボット教室や英語落語などの講演会を行ったり、学校のイベントに共催して、ハロウィンの賞品やカナダデーの差入れなどを提供しています。クリスマスフィエスタにも、バザーやカフェ、ゲームなどのコーナーを担当しています。

また、独自の活動としましては、サマーフェスティバルを主催しています。

今後は、図書館の整備や、運動用具の拡充、フィールドトリップへの貢献などに関わっていきたくと考えております。

皆様もPTSAのメンバーです。私たちは代表して活動させていただいているにすぎません。

何か良いアイデアやまた改善点などございましたら、なんでもけっこうです。ぜひ、お聞かせください。一緒に実現、または改善していきましょう。

月に一回、だいたいその月の第二土曜日に役員会を開催しております。どうかお時間がございましたら、気軽にのぞいてみてください。一緒に子どもたちのために楽しく活動しましょう。もちろん、お電話やメールでもいつでもご連絡ください。待っています。

